# 玉川上水・野の花だより　No.４４

## 玉川上水散策路ぞいの野の花（ツルボ）

東京大学名誉教授　　中央大学研究開発機構・機構客員教授

石川　幹子

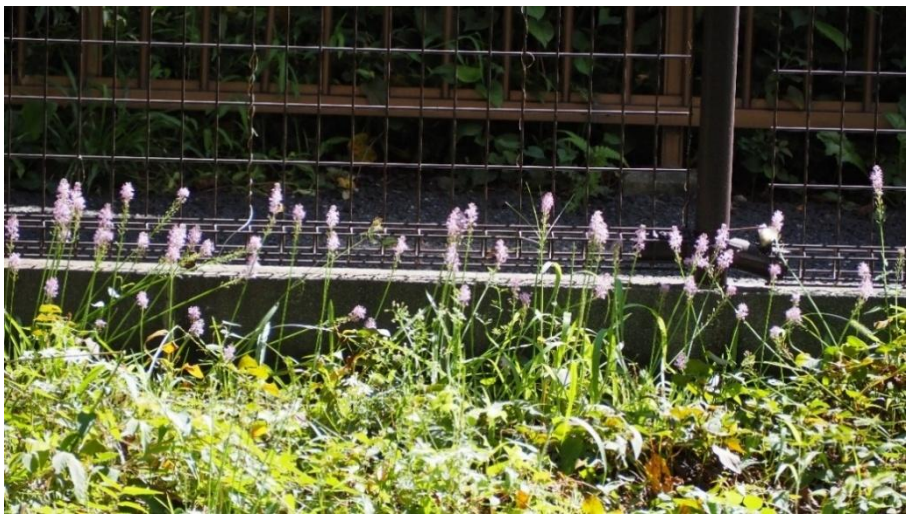
2026 年　9 月 24 日



野の花だより No.36 では、第三号橋から笹塚橋の間の右岸に咲くツルボを御紹介しました。上流の稲荷橋から第二号橋の間にも、ツルボの見事な群落があります。稲荷橋から第二号橋にかけては、右岸、左岸ともに、玉川上水の管理道が散策路となっていて、四季折々の変化を楽しむことができます。

写真は、右岸の日当たりのよい場所に咲いているツルボで、散策路のすぐ側にありますから薄紅紫色の花を詳細に観察することができます。合弁花で、多数の小さな花が穂のようになり秋の訪れを告げてくれます。

かつては、田の畦道や野原で、全国どこにでも見られた花でした。東京都のレッドデータブックでは、現時点では準絶滅危惧（NT）には指定されていませんが、相対的に種数の少ない「留意種」となっています。この稲荷橋～第二号橋の国指定史跡で、このような群落が残っているのは、東京都水道局により定期的な下草刈が行われ、里山的管理が持続されてきたためです。生物多様性の宝庫であり、人と共存し、保全されてきた群落として貴重です。



**ツルボ　　9 月 22 日　撮影（稲荷橋～第二号橋　右岸）**